

## 平成23年6月期 第2四半期決算短信（非連結）

平成23年2月15日

会社名 株式会社 武井工業所  
 コード番号 5286

上場取引所等 フェニックス銘柄  
 本社所在都道府県 茨城県

(URL <http://www.takei21.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長  
 氏名 武井厚

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役管理本部長  
 氏名 大内 哲朗

TEL (0299) 24-5216

半期報告書提出予定日 平成23年3月29日

## 1. 平成23年6月期第2四半期の業績（平成22年7月1日～平成22年12月31日）

（百万円未満切捨て）

## (1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年6月期第2四半期	1,851	(△18.4)	△76	(-)	△103	(-)
22年6月期第2四半期	2,269	(0.2)	108	(-)	75	(-)

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後1株 当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 経常利益率	
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%	%		
23年6月期第2四半期	△122	(-)	△34	72	-	-	△11.5	△2.4	△5.6			
22年6月期第2四半期	74	(-)	20	96	-	-	7.6	1.6	3.3			

- (注) ① 持分法投資損益 23年6月期第2四半期 - 百万円 22年6月期第2四半期 - 百万円  
 ② 期中平均株式数 23年6月期第2四半期 3,536,656 株 22年6月期第2四半期 3,536,656 株  
 ③ 会計処理の方法の変更 有  
 ④ 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円	銭	
23年6月期第2四半期	4,388	1,005	22.9	284	42			
22年6月期第2四半期	4,669	1,013	21.7	286	08			

(注) 期末発行済株式数 23年6月期第2四半期 3,542,000 株 22年6月期第2四半期 3,542,000 株

## (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
23年6月期第2四半期	85	△5	△16	182				
22年6月期第2四半期	136	△10	△48	146				

## 2. 平成23年6月期の業績予想（平成22年7月1日～平成23年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金（円）				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
				円	銭	円	銭	円
通期	4,100	60	35	-	-	-	-	-

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 9円88銭

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

### 3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
- ② ①以外の変更 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                     |             |             |             |             |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 23年6月期第2四半期 | 3,542,000 株 | 22年6月期      | 3,542,000 株 |
| ② 期末自己株式数           | 23年6月期第2四半期 | 5,344 株     | 22年6月期      | 5,344 株     |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計期間)  | 23年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 | 22年6月期第2四半期 | 3,536,656 株 |

#### ※業績予想に適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の成長を背景に特に輸出型産業の企業収益が改善する一方で、個人消費が低迷するなど、景気は足踏み状態で推移いたしました。また、急激な円高やデフレの影響に加え、失業率は高水準にとどまるなど、経済情勢は依然として厳しい状況が続いてまいりました。

当社の属する建設業界におきましても、前年度見られたような景気対策などの政策的な公共工事の発注は殆ど行われず、当社の近隣における大型プロジェクト工事も一段落したため、年度末に公共工事が集中する常態に戻りましたが、公共事業費の削減や民間設備投資の低調さなどから以前より発注量が大幅に減少しており、建設会社間の受注競争がますます激化しております。これにより建設資材メーカーに対しても値下げ圧力が更に強まり、全体としての量の減少に加え販売価格の低下が進行しており、原材料や動燃料の価格の上昇傾向もあり、収益環境は非常に厳しさを増しております。

このような経営環境のなか、当社は、函渠型側溝「フリードレーン」シリーズなどのオリジナル製品販売について引き続き積極的に取り組みましたところ、前年同期間以上の販売実績となるなど一定の成果を得ました。更に、近年の公共事業費縮減傾向に対応して取組みを強化している民間向けの受託製品事業においても数種類の品目の製造受入れが着実に進行しております。しかしながら規格品の割合が高い汎用製品市場は予想以上の速度で進行する市場縮小に直面し、価格も下落するなど、受注状況は低調に推移いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が18億5千1百万円(前年同四半期に比べ4億1千8百万円の減少)となり、営業損失7千6百万円(前年同四半期は営業利益1億8百万円)、経常損失1億3百万円(前年同四半期は経常利益7千5百万円)、四半期純損失1億2千2百万円(前年同四半期は四半期純利益7千4百万円)となりました。

なお、品種別の売上高は以下のとおりであります。

区分	品目	前第2四半期累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年12月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
製品	道路用製品	412,337	18.2	317,052	17.1
	水路用製品	854,566	37.6	748,021	40.4
	擁壁・土止め用製品	187,279	8.3	163,543	8.8
	法面保護用製品	80,852	3.6	11,122	0.6
	その他	93,117	4.1	73,223	4.0
	小計	1,628,153	71.7	1,312,963	70.9
商品	コンクリート二次製品	558,314	24.6	448,758	24.2
	その他	83,313	3.7	89,671	4.8
	小計	641,627	28.3	538,430	29.1
	合計	2,269,780	100.0	1,851,394	100.0

2. 財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、前第2四半期会計期間末と比較して、2億8千1百万円減少し、43億8千8百万円となりました。流動資産は前第2四半期会計期間末と比較して2億4千4百万円減少し、18億2千7百万円となりました。これは、「現金預金」3千4百万円、「受取手形」4千4百万円増加したものの、売上高の減少に伴い、「売掛金」1億5千6百万円、棚卸資産である「製品」1億5千3百万円及び「商品」9百万円等が減少したことによるものであります。固定資産は、前第2四半期会計期間末と比較して3千6百万円減少し、25億6千万円となりました。これは主に、減価償却による「有形固定資産」4千6百万円等が減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、前第2四半期会計期間末と比較して、2億7千3百万円減少し、33億8千2百万円となりました。流動負債は前第2四半期会計期間末と比較して3千2百万円増加し、26億5千5百万円となりました。これは、仕入れ債務である「買掛金」3千1百万円及び「未払金」2千2百万円等減少しましたが、「短期借入金」8千万円等が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、前第2四半期会計期間末と比較して7百万円減少し、10億5百万円となりました。これは主に当第2四半期純損失を計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前第2四半期会計期間末の21.70%から22.92%となり、当第2四半期会計期間末発行株式総数に基づく1株当たり純資産額は前第2四半期会計期間末の286円08銭から284円42銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加8千5百万円、投資活動によるキャッシュ・フローの減少5百万円及び財務活動によるキャッシュ・フローの減少1千6百万円により、前中間会計期間末に比べ3千5百万円増加し、当第2四半期末残高は1億8千2百万円となりました。

なお、当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における営業活動の結果得られた資金は、8千5百万円(前年同期は1億3千6百万円の増加)となりました。この主な増加要因は、減価償却費4千8百万円に加え、売上債権の減少9千万円及び仕入債務の増加6千4百万円等によるもので、主な減少要因は、税引前四半期純損失1億2千1百万円に加え、割引手形の減少2千6百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における投資活動の結果使用した資金は、5百万円(前年同期は1千万円の減少)となりました。この主な増加要因は、定期預金の払戻しによる収入1億2千8百万円等によるもので、主な減少要因は、定期預金の預入れによる支出1億1千3百万円及び有形固定資産の取得による支出1千6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期会計期間末における財務活動の結果使用した資金は、1千6百万円(前年同期は4千8百万円の減少)となりました。この主な増加要因は、短期借入金の純増加額9千万円及び長期借入金による収入2億円によるもので、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出2億8千8百万円、リース債務の支払いによる支出8百万円及び配当金の支払いによる支出8百万円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績の進捗状況を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成22年8月12日に公表いたしました平成23年6月期の業績予想を下記の通り修正いたします。なお、詳細は平成23年2月15日付「平成23年6月期第2四半期累計期間業績予想（非連結）及び通期業績予想（非連結）並びに配当金予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(1) 第2四半期累計期間（平成22年7月1日～平成22年12月31日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (平成22年8月12日発表)	2,040	△0	△0	0 00
今回修正 (B)	1,851	△ 103	△ 122	△34 72
増減額 (B-A)	△ 189	△ 103	△ 122	△34 72
増減率 (%)	△9.3	—	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績 (平成22年6月期 第2四半期)	2,269	75	74	20 96

(2) 通期（平成22年7月1日～平成23年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (平成22年8月12日発表)	4,600	167	160	45 17
今回修正 (B)	4,100	60	35	9 88
増減額 (B-A)	△ 500	△ 107	△ 125	△35 29
増減率 (%)	△10.9	△64.1	△78.1	△78.1
(ご参考) 前期実績 (平成22年6月期)	4,811	226	199	56 40

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

(資産除去債務に関する会計基準等の適用)

第2四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第2四半期累計期間の営業損失、経常損失はそれぞれ114千円増加し、税引前四半期純損失は7,002千円増加しております。

5. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	202,327	138,600
受取手形	195,457	350,402
売掛金	704,891	593,857
商品及び製品	642,910	649,913
原材料及び貯蔵品	95,499	90,232
前払費用	17,203	17,665
その他	2,829	4,952
貸倒引当金	△ 33,135	△ 27,765
流動資産合計	1,827,983	1,817,859
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	370,746	383,587
構築物 (純額)	165,630	175,412
機械及び装置 (純額)	123,804	132,198
土地	1,621,368	1,621,368
リース資産 (純額)	84,298	57,957
その他 (純額)	88,349	83,023
有形固定資産計	2,454,197	2,453,547
無形固定資産		
電話加入権	4,572	4,572
無形固定資産計	4,572	4,572
投資その他の資産		
投資有価証券	11,513	11,823
その他	313,313	349,689
貸倒引当金	△ 222,903	△ 247,982
投資その他の資産計	101,923	113,530
固定資産合計	2,560,693	2,571,650
資産合計	4,388,677	4,389,509

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前会計年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	276,121	211,751
短期借入金	1,560,000	1,470,000
1年以内に返済予定の長期借入金	517,368	514,488
リース債務	22,346	16,020
未払金	228,285	196,321
未払法人税等	3,523	5,220
未払消費税等	10,494	9,373
預り金	17,017	10,411
賞与引当金	16,815	20,265
その他	3,968	4,679
流動負債合計	2,655,939	2,458,533
固定負債		
長期借入金	545,060	636,804
退職給付引当金	106,325	110,259
リース債務	67,783	45,854
資産除去債務	7,680	—
固定負債合計	726,849	792,918
負債合計	3,382,788	3,251,451
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	522,323	522,323
資本剰余金	389,632	389,632
利益剰余金	96,539	228,159
自己株式	△ 1,112	△ 1,112
株主資本合計	1,007,382	1,139,002
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 1,494	△ 944
評価・換算差額等合計	△ 1,494	△ 944
純資産合計	1,005,888	1,138,058
負債純資産合計	4,388,677	4,389,509

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
売上高	2,269,780	1,851,394
売上原価	1,625,823	1,428,280
売上総利益	643,957	423,114
販売費及び一般管理費	535,432	500,067
営業利益又は営業損失 (△)	108,525	△ 76,953
営業外収益		
受取利息受取配当金	122	131
受取保険金	3,540	693
貸倒引当金戻入益	5,200	—
その他営業外収益	3,414	12,477
営業外収益合計	12,278	13,302
営業外費用		
支払利息割引料	42,832	37,096
その他営業外費用	2,838	2,457
営業外費用合計	45,670	39,554
経常利益又は経常損失 (△)	75,133	△ 103,204
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	148
特別利益合計	—	148
特別損失		
固定資産除却損	—	656
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,887
損害補償金	—	11,235
特別損失合計	—	18,779
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	75,133	△ 121,835
法人税、住民税及び事業税	989	942
法人税等合計	989	942
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	74,143	△ 122,778

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失 (△)	75,133	△ 121,835
減価償却費	59,773	48,733
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△ 6,239	△ 15,085
賞与引当金の増減額 (△は減少)	21	△ 3,450
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	6,691	△ 3,934
受取利息及び受取配当金	△ 122	△ 131
支払利息	41,175	36,412
有形固定資産除却損	—	656
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△ 148
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,887
損害補償金	—	11,235
割引手形の増減額 (△は減少)	△ 191,148	△ 26,306
売上債権の増減額 (△は増加)	109,108	90,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 65,702	1,736
仕入債務の増減額 (△は減少)	82,228	64,369
その他	68,846	34,482
小計	179,764	124,294
利息及び配当金の受取額	122	131
利息の支払額	△ 41,536	△ 37,352
法人税等の支払額	△ 1,963	△ 1,759
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,386	85,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△ 241	△ 240
有形固定資産の売却による収入	—	523
有形固定資産の取得による支出	△ 12,311	△ 16,125
定期預金の預入による支出	△ 27,000	△ 113,000
定期預金の払戻による収入	30,000	128,000
その他	△ 754	△ 4,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,308	△ 5,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	90,000
長期借入による収入	200,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△ 236,844	△ 288,864
リース債務の返済による支出	△ 4,791	△ 8,865
配当金の支払による支出	△ 6,930	△ 8,650
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,565	△ 16,379
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	77,513	63,726
現金及び現金同等物の期首残高	69,412	118,600
現金及び現金同等物の四半期残高	146,926	182,327



(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報に関する注記  
(追加情報)

当第1四半期会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は事業の種類としてコンクリート二次製品の製造・販売及びそれに伴う環境商品等の販売を行う事業内容であり、事業の種類別セグメント上は単一事業として取扱っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。